



## 二つのマスコット投票

校長 星美登里

2月は、平昌オリンピックで日本中が沸きました。日本のメダル数は13個と、冬季オリンピック過去最多となりました。参加選手たちは、決して順風満帆のアスリート人生であったわけではなかったようです。「不撓不屈」—挫折や怪我にも強い意志とたゆまぬ努力で乗り越えたアスリートの皆さんに大変

### 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

#### マスコット候補（ア案に決定しました）



感銘を受けました。次のオリンピック・パラリンピックはいよいよ2年後の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（「東京2020大会」）です。

オリンピックに前後して南田中小学校では、二つのマスコットを決めるための投票をしました。

一つ目は、その東京2020大会のマスコットの投票です。全国の小学生による学

級単位での大会マスコットへの投票は過去の大会にはない史上初の試みで、本校も各学級の投票を済ませました。通常の学級12学級・みなみん学級1学級の全13学級の投票結果は、ア案3票、イ案3票、ウ案7票でした。投票にあたり、どの学級も三つのマスコット案のプロフィール（マスコットの表す意味や性格など）をもとに東京大会にふさわしいマスコットを学級で決めようと、東京2020大会に思いを馳せながら真剣に考え、熱心に話し合っていて決めていました。昨日2月28日（水）、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から、ア案に決定したと発表がありました。ぜひ、お子様とマスコットについて語り合ってみてください。

本校二つ目のマスコット投票は、南田中小学校開校50周年記念のマスコットを選ぶ投票です。みなみ委員会の前期・後期の児童が引き継ぎながら、企画運営してきた取組です。まず、40周年のマスコットを50周年記念バージョンに変身させたものを募集し、各学級の子供たちが考えたマスコットの中から学級の代表を一つ決めました。さらに学級代表の13のマスコットについて、全児童が50周年という節目の年度にふさわしいと思うものに1票を投じました。最多得票のマスコットは、4年生がデザインしたもので、今後50周年記念行事の様々な場面で活躍する予定です。

東京2020大会と南田中小学校開校50周年記念の二つのマスコット投票。皆で話し合う過程を通して、それぞれのイベントを「自分事」として更に身近に感じ、子供たちの心に残るだろうと願っています。

### 南田中小学校開校50周年記念

#### マスコット決定!



# 3月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
			1 心ふれ ダンスクラブ 発表 5 5 6 6 6 6	2 SC 朝読書・読み聞かせ 保護者会(1, 5) 4 6 6 6 5 6	3	4
5 全校朝会 委員会 5 5 5 6 6 6	6 心ふれ 6年生を送る会 (3・4校時) お別れ給食会 保護者会(3, 4) 5 5 5 5 6 6	7 外遊び 5 5 5 5 5 5	8 心ふれ 外遊び 保護者会(2, 6) 5 4 6 6 6 5	9 SC 掃除なし 朝読書・読み聞かせ 5 6 6 6 6 6	10	11
12 全校朝会 5 5 5 5 5 5	13 心ふれ 卒業・進級を祝う 会(み)(3・4校時) 保護者会(み) 5 5 5 6 6 6	14 外遊び 5 5 5 5 5 5	15 心ふれ 体育朝会 (長縄) 5 5 6 6 6 6	16 SC 掃除なし 朝読書・読み聞かせ 5 5 5 5 5 5	17 6年生を祝う会	18
19 全校朝会 4 4 5 5 5 5	20 給食終 大掃除(4校時) 4 4 4 4 4 4	21 春分の日	22 修了式 卒業式予行 2 2 2 4 4 4	23 SC 卒業式 0 0 0 4 4 4	24	25
26 春季休業日始 校庭開放 (14:30~17:00)	27	28	29	30	31	4/1

※SC：スクールカウンセラー出勤日 心ふれ：心のふれあい相談員出勤日

※各日の数字は授業時数です。1番左が1年生、1番右が6年生です。

※みなみん学級の下校時刻については学級で配布した月行事予定表をご確認ください。

## 【3月の生活目標】

### 感謝の気持ちを伝えよう。

いよいよ、1年間のまとめの月となりました。この1年間、自分たちがこうして成長できたのも、今、使っている教室があったから、机や椅子があったから、または、たくさんの先生方がいろいろな事を教えてくれたから、友達にもたくさん助けてもらったから、と、様々なことがあったから一人一人が成長できた、と振り返らせていきます。そうした時、自然と「ありがたいな。」という感謝の気持ちが湧いてくるのではないのでしょうか。その感謝の気持ちを表すにはどのようにしたらよいかを、子供と共に考え、実践に移していくようにします。

(生活指導担当 井上慎美子)

## 【校内研究「特別の教科 道徳」】

### 「自分の思いや考えをもち 表現できる子の育成」 ～対話を深める 指導法の工夫 道徳科を通して～

本校は、互いに助け合うことが大切という優しい気持ちをもっている児童が多いです。しかし、いざとなると行動に移せないことも多々あります。また、自分がその立場だったらどうするか想像したり、友達の意見から考えを深めたりすることもあまり得意ではありません。そこで、上記の主題を設定し、道徳の研究に取り組んできました。各授業、対話が深まるような指導方法を工夫することで、互いに意見交流をしながら友達の考えを知ったり、自分を見つめたり、考えを深めたりする児童の姿も見られるようになってきています。

子供たちが豊かな心を育み、主体的・対話的な学びができるよう、来年度も「道徳科」について研究を深めていきます。

(研究推進担当 伊藤啓子)